

日本橋歴史スタディ・鬼平十二番勝負・第7回（全12回）

## 火附盗賊改鬼平の活躍

2012年7月17日 安藤優一郎

### 講演趣旨

池波正太郎の代表作・鬼平犯科帳の主人公長谷川平蔵の知られざる実像をお話します。

### 1. 鬼平の取り締まり実績

#### (1) 捕縛したのは盗賊

放火の多さと捕縛した放火犯の少なさ／盗みのための放火／盗品から足が付く／江戸での盗品を近在や関東で換金／登録制だった八品商（質屋・古着屋など）

#### (2) 取り扱った事犯

天明のうちこわし／神道德次郎一件／葵小僧一件／大松五郎一件

#### (3) 鑑識眼の確かさ

自ら市中を巡回／馬上から僧侶に変装していた盗賊を識別／工事場で見かけた左官を盗賊と見抜く／裏社会に通じる岡引きの駆使による情報収集

### 2. 鬼平の機転と心配り

#### (1) 火事場泥棒の防止

浅草で火事との知らせが本所の屋敷に届く／人を遣って左三つ藤巴の家紋が染め抜かれた高張提灯を浅草御門に掲げさせる／平蔵が来ていると誤認させる／火事に便乗した盗賊が出てくるのを防ぐ／平蔵が出張る前にやって来た与力・同心の指揮下に町火消も入る

#### (2) 町人に蕎麦を振舞う

江戸町人が盗賊を本所に連れてくる／町人には自腹を切って蕎麦を振舞ってねぎらう／冷や飯に茶漬けよりも喜ぶのではとの配慮／火附盗賊改にそこまでの義務はない

### 3. 鬼平の評判

#### (1) 今の岡殿、本所の平蔵様

誤認捕縛者への銭支給／刑死した者の供養／路上生活者に施し／人情に厚く慈悲深い

#### (2) 同僚からの嫉妬

岡引き多用に対する批判／スタンドプレーとみなされる／身銭を切った結果、懐事情は悪化の一途

### 講師紹介

歴史家。文学博士（早稲田大学）。東京理科大学、JR東日本大人の休日倶楽部講師。著作に『徳川将軍家のブランド戦略』新人物文庫（2012年1月）。『歴史を動かした徳川十五代の妻たち』青春文庫（2012年6月）、『江戸っ子の意地』集英社新書（2012年5月）